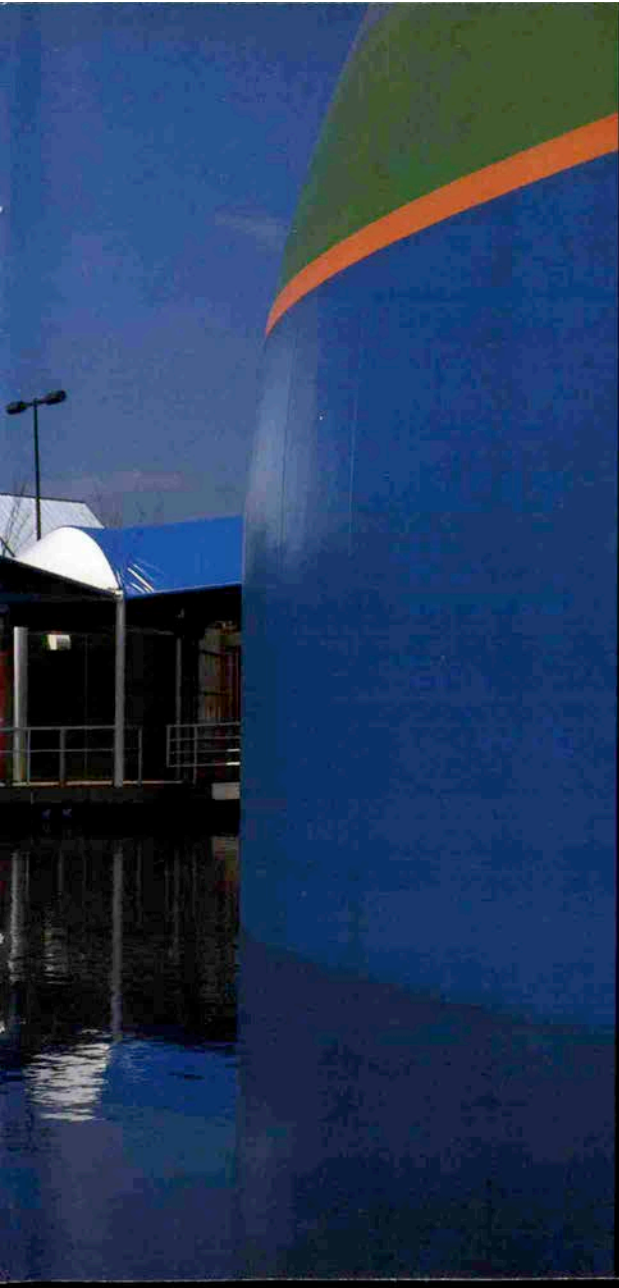
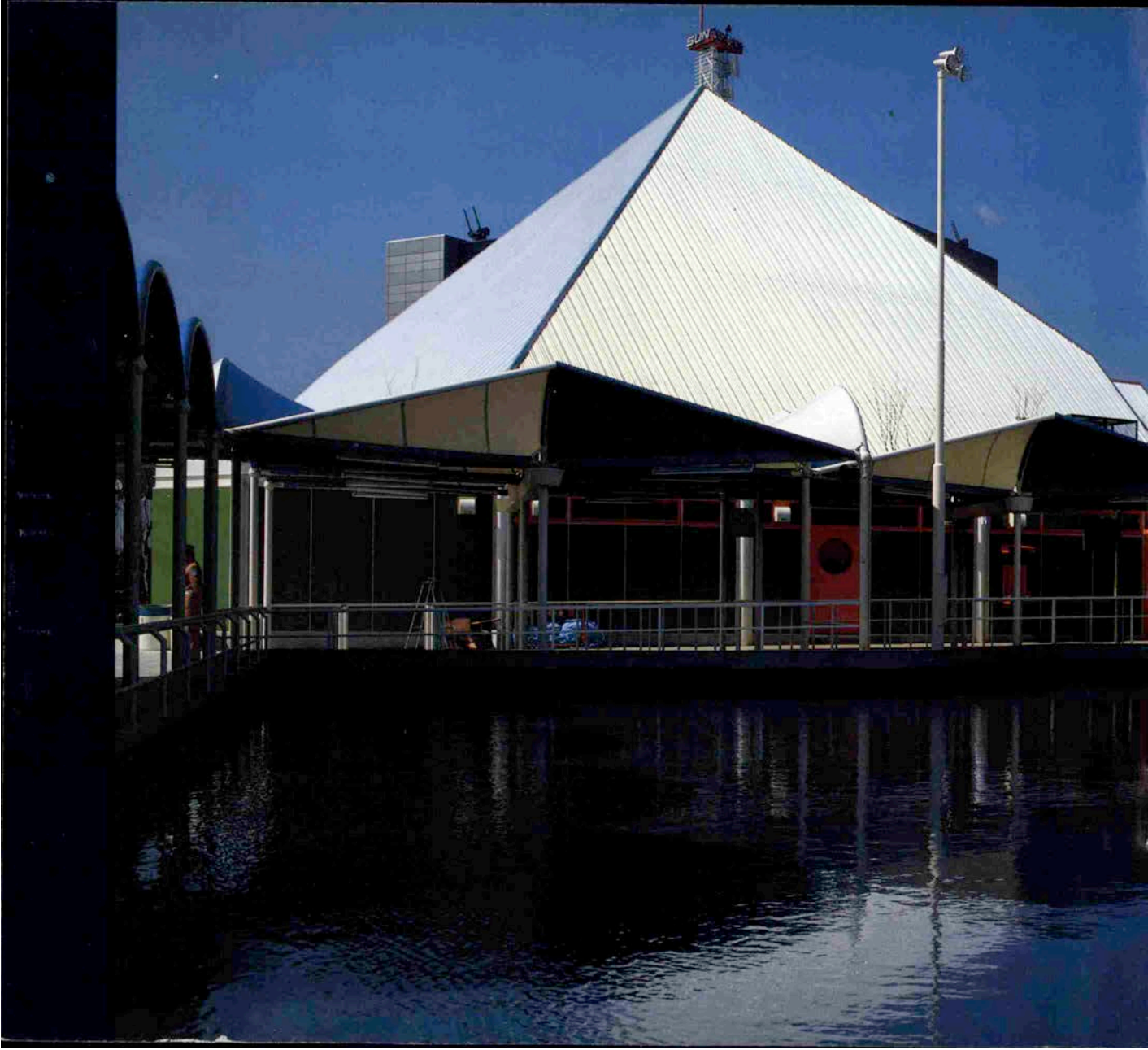


神戸の風色

KOBE ● FUSHOKU

堀内 初太郎 NO・19





今夜はトロピカル気分



POÉTIQUE

KOBE
まさ

- 神戸 さんブラザ店
 さんちか店
 須磨パティオ店
- 大阪 千里阪急地下街店
 阪急ファイブ
 西武高槻店
 泉北パンジョ店
- 宝塚 阪急ファミリーストア店
- 大津 西武大津SC店



海を忘れないあなたに。
潮騒がきこえるブルー・マリーン

〈イタリア、ゼニアのスポーツラインのコレクション〉

● ¥28,000 ● ¥20,000 ● ¥19,000 ● ¥14,000

世界のオシャレをお届けする

本店/神戸元町1番街 078-331-3112
別室/元町1丁目(穴門筋) 078-332-2800
大坂店/ナビオ阪急2F 06-316-1305
東急百貨店/渋谷店・日本橋店・町田店・吉祥寺店・東横店・札幌店

ウネ
KOBE UNE

TAILORING FOR
CONNOISSEUR

Watanabe

伝統の心を縫う

—
手造りの格調

GUY LAROCHE
monieur
made in France

洋服ノ粹

工渡邊

〒651 神戸市中央区磯上通
8-1-32 グリーンビル1F
TEL (078) 251-8501 代
東京—大阪—神戸—姫路



スリーピース〈イタリア製〉¥106,000

白い波が運ぶサマーストーリー

 *ladies watanabe*

神戸市中央区三宮町1丁目〈センター街・ニューセンタービル1F〉TEL.078-331-1650 10:30AM〜7:00PM 水曜休

贈る心にお菓子をそえて
お中元に **ゴーフル**



ポートピア会場に出店
ポートピアランド店
異人館通り店



神戸 月 堂

ゴーフル

本社・神戸市中央区元町通3丁目3-10 ☎(078) 321-5555

この夏 あなたに
とくにおすすめしたい
ゴーフル セット



ミモザ 3,000円

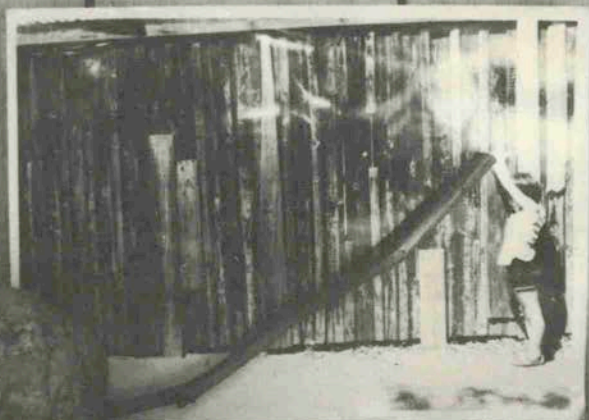
ゴーフル 9枚
コーヒーゴーフル 10枚
ファミリーデザート 5個



カンナ 5,000円

ゴーフル 10枚
コーヒーゴーフル 10枚
パティスotte デュオレ 24本
デセール ショアジ

a little
stone



これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帳です

7月号目次 ● 1981・NO・243

表紙 / 小磯良平

セカンドカバー／僕の見た神戸（31）／西村 功

39 神戸女子大学 / 塩田和子 / 中井裕子

15
コウベスナ
ツブ

181
神戸
戸の
風景
色
191

わたしの意見／緒方しげを
徳川／三無王／龍大り子／武田

ある集いその足あとノF・M・

383
連戦エ
ツセイ
・折々
の神戸
(4)

トランプベットの片手にフラジール

44 特集「座談会／神戸はハイカラ」

50
特集2 もうさんのボートピア

754 未来空間を体験する祭典 / コー

58 キーンベーン / 国際文化都市神戸

木口 衛／川上 勉／橋本 公

64 特集 インタビュー / 六甲の山 / 張朝英一

66 誌題のひろば―神戸ネオ・トロ

有馬瘦時記（一）月／書さじ

神戸を福祉の町に
つくりだす
P / 研究

NEUE MODE MÄRCHEN

アン・ド・パル
アン・ド・パル

108 北野町ガイドマップ

「コちゃんの華麗なる食べある」

7月 フランセ / 花

六甲山(〇〇コース)石切道を

主筆張記(一) / 兵庫運河と

K F S ニューズ
K O B E M O D E R N C I T Y T H R U
6135

140) $\mathbb{R}^n \rightarrow \mathbb{R}^n$ へ $\mathbb{R}^n$ を $\mathbb{R}^n$ へ

4514 世とていふ

神戸百貨会だより

1521 流れる要諦(最終回)(第2回)

58 久保田 康子 / 新・日中一対
連載小説 / 福原

秋吉 好 / 絵・岡田嘉夫

1641
編纂後記

再びアルファベットの力に
再びアルファベットの力に
再びアルファベットの力に

田村

10

SUMMER GREETING

暑中お見舞い申し上げます

Rose Garden



神戸市中央区山本通2丁目8-18
TEL078(222)1140

異人館倶楽部



神戸市中央区北野町4丁目1-12
TEL078(222)1266

KITANO ALLEY

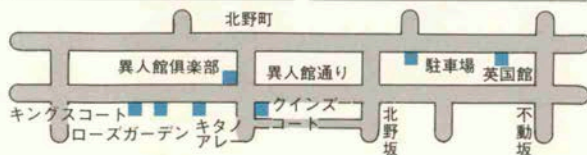


神戸市中央区山本通2丁目9-13
(異人館通り)

英 国 館



神戸市中央区北野町2丁目3-16
TEL078(221)2132



キングスコート・神戸市中央区山本通2丁目8-13
TEL078(242)7090

リザ・サロシ

ルイ・ミツシエル

CABIN

フランス・アンドルヴィ

ジョージ・レッシュ

ダイアナ

Pia

ルベール

ランプ

美呂

CAN

ゲルラン

東京屋

新宿・高野

BONフカヤ

ザ・コレクション

ココ山岡

ブラシコ

ホットマン

三愛

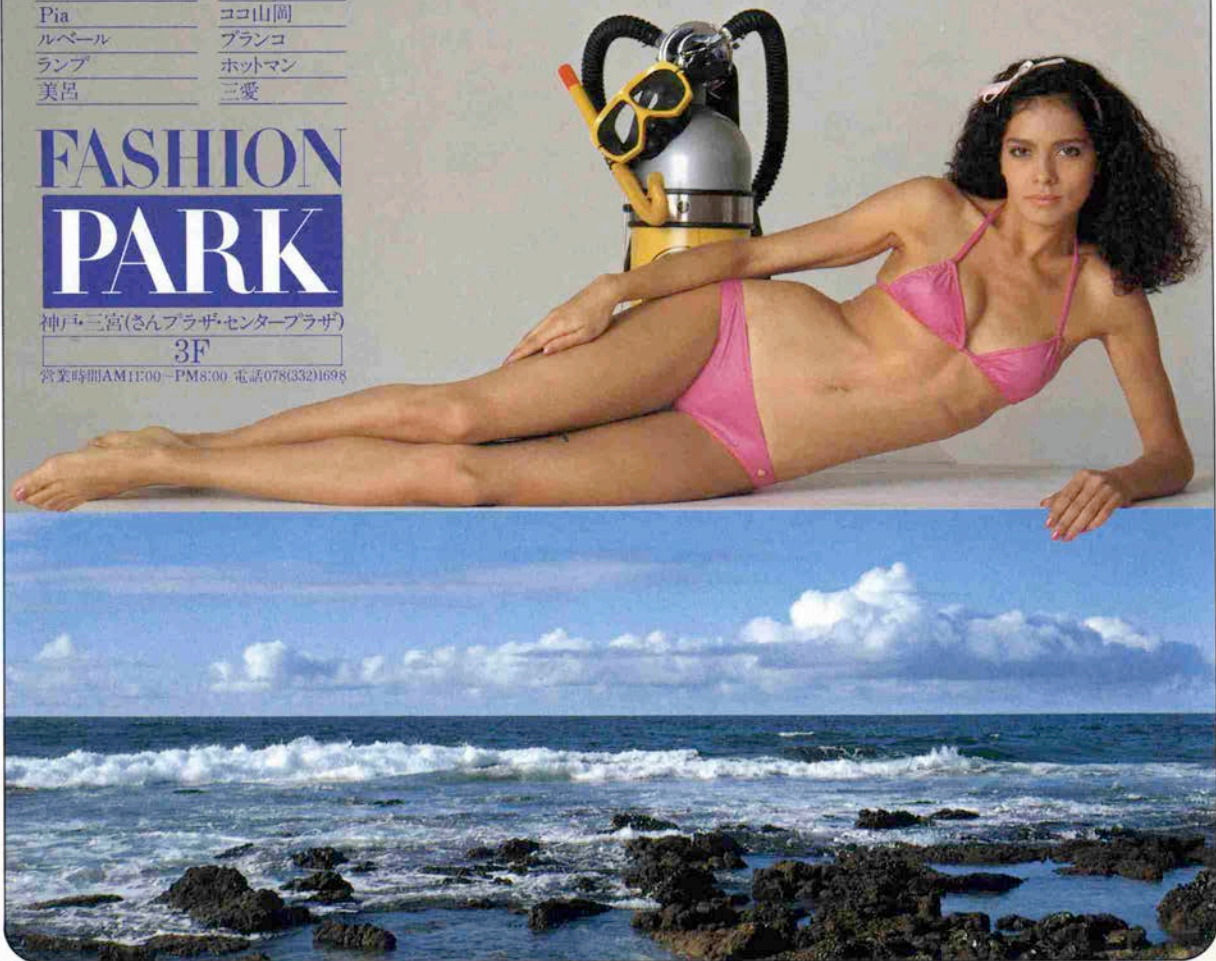
私は、小麦色になりたい珍しい魚です。

FASHION PARK

神戸・三宮(さんプラザ・センタープラザ)

3F

営業時間AM11:00 - PM8:00 電話078(332)698



〈そごう〉が選んだ

陶芸の粋

題字 望月美佐



今泉今右衛門作 色鍋島 桃絵香炉

7月の画廊催しご案内

●美術画廊(6階)

●7月3日(金)～7月8日(木)

海外人気作家版画展

●7月9日(木)～7月15日(木)

〈古刀から現代刀まで〉

日本刀剣展

●7月16日(木)～7月22日(木)

〈第4回〉現代人気作家版画展

●7月23日(木)～7月29日(木)

〈第2回〉穂月 明個展

※写真作品についてのお問い合わせは美術画廊(6階)
内線655までご連絡下さいませ。



花の心、風の心、無の心、烟となりて空に遊ぶ。

☆私の意見

国際的視野を 拡げよう

緒方しげを

△緒方耳鼻咽喉科院長・写真家▽



神戸に住む人はいながらにして国際人の資格を有している。港があるからだ。完膚なきまでにたたかれた焼土に立ち、天に向ってこぶしを振り上げた我々が、今の神戸を想像し得たであろうか。しかし強烈な打撃による体験は反発のエネルギーとして我々の体内に蓄積し、それが現在の神戸を再現したともいえるのではないか。Have not you Cigarettes? という屈辱的な言葉をもって初めて外国兵と接してよりテレビアンの今日まで、航空機の発達と共に各国との交流が日本に急激な変化をもたらした。国際的な仕事にたづさわる人々は別として、常々外人と接する機会のない人々は、つとめて国際的な感覚をとり入れる努力をすべきである。無理をしても外国に行き、出来るだけ多くの見聞と体験をする事だ。

東南アジアの病院の夜半、救急外来は40人もの患者で野戦病院の如く混雑していた。輸送車に乗せられたまま点滴注射を受け治療を待っている。市場では梨子(リッツ)という麻薬まがいのものが売られていた。二つ口に含むと強烈なしぶ味と共にふらふらになる。欧米諸国は殆んど医薬分業。開業医はオフィス形式、日本の様な大きな看板は見当らない。或る福祉優先国の朝、公園のベンチにはおびただしい酔っぱらいの老人がゴロゴロ寝ている。すばらしい設備を持った臓器バンク、高額な賠償費に萎縮しつつある医師達、この中間に位置する日本の医療も世界の情勢をふまえて考えなければ何れ崩壊の危険をはらみ、ひいては国民の不幸につながるのである。

外国語排斥運動の最中に育った我々年代人は語学に遅れた。その意味においても現代若者に大いに期待し、すぐれた国際人になるための基盤を作ろう。私の先祖は日本を飛び出して外国に住みついた。しかし病魔に倒れ志なかばにして非業の死をとげた。成功しておれば私は今頃日本にはいなかっただろう。港へ行って海を見よう海は我々を擁抱し、文化の風をもたらしてくれる。文化とは相手の身になって考える事から始る。我々は海のような視野を持つべく努力しよう。

刀剣 古美術



刀拵つき
銘 九州肥後同田貫上野介
(特別貴重刀剣認定書付)
長さ 62.8(2尺7分半)
特別提供価額 ￥850,000

毎月20日 無料鑑定
研磨、白サヤ、その他工作
お支払いに便利なローンをご利用下さい。

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市中央区元町通6丁目6番3号

三越百貨店東へ150m 商店街山側

TEL 078-351-0081



この道ひとすじ
伝統の味を贈りものに...



菅園は百有余年
お茶は千年、
心にしみるお茶の味
銘茶 千年



神戸銘菓
玉すだれ



銘茶の老舗

菅園

本店 / 神戸市中央区多聞通3-2-15
湊川神社前 TEL (078) 341-1401(代)

随想



カット／石原 正「神戸絵図」(部分)より

神戸の未来性と スペースシャトル

武田 芳一

△作家▽



先頃のスペースシャトルの壮舉は、米国が威信を挽回したといわれる。科学の粋を集めた宇宙船も、まだ一点の疑問があったのを、あえて打ちあげた勇氣と決断に、世界中は絶賛した。百尺竿頭に一步進めるには決死の勇氣が必要なのだ。人類がもつ今日の科学には、いつも勇氣と決断で、勝利と栄冠

がもたらされた。過去の人類の勇氣が、今日の科学と文化の快適な生活を与えてくれたのである。

世界や人類の話から、小さい神戸の話になって申訳ないが、一般の人々はみな科学者でも名人でもないのだから、そんな文明や文化の恩恵は、自分の場所でしかうけない。

神戸人は自分の市街に自負と誇をもっている。これは過去の市民が選択し伝受してくれた神戸文化のお蔭である。この神戸氣風を未来の市民にも伝受して、その自負と喜びをもってもらうのが、今日の市民の義務と思う。

神戸の氣風は明治から始まったから、京、大阪のような古風なものはないが、代りにハイカラでスマ

ートな氣風が受け継がれている。神戸は明治、大正の頃は、舶來の文化が、日本で最初に開花する市街だった。舶來のモードは神戸から発祥している。神戸の歴史は百年前後なのに、土木工事が意外に多い。

兵庫の運河の開さく、生田川、湊川の付け替え、日本で最初のトンネルが国鉄の石屋川である。大昔は清盛の経ヶ島の工事など、戦後の神戸はポートアイランド、六甲アイランドなど、日本のどこにもない大工事である。ポートピアの賑いも、この工事のお蔭である。しかし、戦後の神戸市は大企業や大工場の逃げ出しで、斜陽の一途をたどっている。

二十一世紀には病み細った神戸市を、未来の市民に譲渡せば、彼らはきつと過去の市民(今の市民)のエゴと怠慢を恨むだろう。

今の市民は過去から、その繁栄と榮光を受取ったのだから、未来にもそれに倍する榮譽を与える責任がある。今の衰退に拱手傍觀すべきでない。今こそ百尺竿頭の時である。

新聞は関西新空港は泉州沖に決ったように報道しているが、まだ決定した訳ではない。神戸は何年か前に市会だけが反対決議をしているが、神戸の未来性にはこれしかないのではないか、もう一度再

考を願うものである。

ここで、ある資料からの神戸のリミットを簡単に述べておく。工費は泉州が6兆円、神戸は1兆円。1兆円はスベースシャトルと同価。工期は泉州が25年、神戸は10年。大阪駅への距離は、神戸が24km、泉州は60km。既存施設は神戸はそのまま使用、泉州は新規建築。地元負担、泉州は10%、神戸はゼロ。6千億円の地元負担は、大阪財界が出すとしても、その国庫の負担は神戸の比でない。

空港の発着には騒音と大気汚染は出るが、台風のような無防備な公害ではあるまい。必ずその対応は今の科学なら出来ると思う。

我々は科学や文明の進展に、恐れや逃避では、世界の文明に取り残される民族になる。進んで先取りして、のり越えてゆくのが、神戸の伝統でなかったか。心ある市民の賛同を求めるものである。

SWING & SWAY

滝 えり子

△ジャズシンガー△



もうかれこれ27年程前になるで

しょうか。まだテレビが開局されてない頃、私は、当時大流行したジャズ喫茶、神戸三ノ宮の「月光」や「コペン」に出演し夜は北野クラブの専属歌手として唄っていました。そんなある日、大阪毎日放送の前身である新日本放送のMBSジャズオーケストラの中沢寿士先生にお会いすることが出来、ジャズ歌手のたまごとしてテストを受けました。「毎週火曜日にスタジオにレッスンにいらっしゃい」とオーディション合格を告げられた時のうれしさを今でも思い出します。そしてラジオ番組の「ジャズパレード」に毎週1回MBSジャズオーケストラの歌手としてスタートしました。今も大好きで唄っているスタンダードの名曲「アゲイン」をはじめフルバンド用にアレンジしていただき、指揮をされる中沢先生の目をしっかり見つめて一生懸命唄いました。音楽を市来崎のり子先生に習っていましたので、不安は感じませんでした、大変緊張しました。

2年ぐらいたったある日、毎日放送のプロデューサーによれば、「君テレビに出ないか」と突然いわれて「テレビって何ですか」「君の声がラジオから流れているだろう、テレビは画面に自分の姿が写るんだ」なんだか不思議で変な感じでした。当時、私の家が今の新

神戸駅の所にあり、布引の滝をとり、芸名を滝として昭和32年、大阪NHK(JOBK)から「デザート・ミュージック」とか「ミュージック・プリズム」などにレギュラー出演しました。現在とちがって白黒テレビなのでメイキャップをするのに随分苦労しました。又、生本番が多くカメラテストとリハーサルにもとても時間がかかりました。まだまだテレビに馴れていないはじめの頃には忘れ物も多く、ステージ用の靴を忘れて「ハダシ」で出演「足もとは写さないで下さいね」と言った思い出もあります。

芸能界をやめて19年たった今でも昔を忘れることが出来ず、古き良き時代のジャズを毎日唄い続けています。そして今年81年を迎えて心から待ちに待っていた神戸ポートピア博覧会が開催され神戸っ子の私にとってこんなうれしいことはありません。記念すべきこの81年に何か思い出を残したいと思っておりました時、神戸ポートピアホテルの皆様方の暖かいおすそめにより、来る7月19日(日)神戸ポートピアホテルにてジャズパティイをさせていただくことになりました。夏の夜の一時をジャズファンの皆様とご一緒にスイングして語り合いグラスを傾け楽しくスウエイしたいと思いたいと

(Swing and Sway with Eriko)

といたしました。この日は心ゆくまで楽しんでいただきたいと思えます。私の生れ育った神戸、そしてポートピア81に「カンバイ」!!:

★Swing and Sway with Eriko

7月19日(日) PM6:30~9:30

神戸ポートピア ホテル コスモポリタンビル(2F) ¥10,000

そして、神戸

石原 正

△鳥瞰図絵師▽

「窓をあければ、港が見える」これは、初期に開けた日本の港の共通点です。私の生れた函館も、この典型です。函館市は、江ノ島を大きくしたような形で、約300mの函館山から成る島が陸と繋がったところにあります。港へ下る坂は神戸より急で、その急坂を下りて平地が200mばかりで、もう海です。幕末当時の米国が捕鯨船の薪炭積込港として眼をつけたのも頷ける天然の良港です。坂の上の異人館や外国人居留地なども、神戸港とほぼ同じ頃にできましたし、港の

賑いも大層なものでした。居留地の中心地は元町で、神戸や横浜と共通しています。神戸の元町は、今、三宮に押されているようですが、函館の方は、もはや昔日の面影はありません。港がさびれて、市の中心が内陸の五稜郭の方へ移ってしまっただけです。昭和29年頃、丘の上にある高校の窓から見下す港は、そりや淋しい眺めでした。

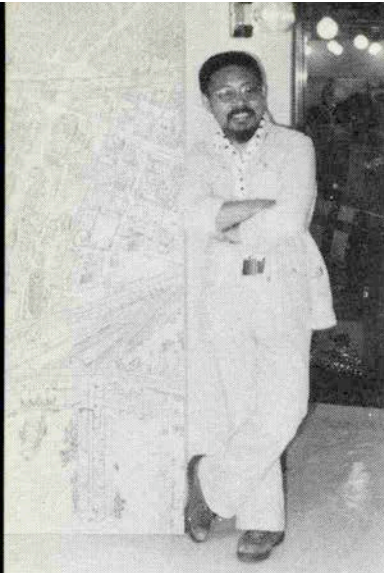
金沢を経て、神戸に下宿したのは、昭和36年の春、憧れのメリケン波止場に来て、驚きました。忙しく動き廻るハシケの群、港内に停泊する貨物船の多いコト、「コリアあかんワ」と函館に同情すると同時に「ササガ神戸やナ」と感心したものです。

都市鳥瞰図を描き始めてから、港町なら、まず函館を……と、考えていましたが、千里ニュータウン・天理・奈良・鎌倉と描き進んで、神戸博の噂を聞き、これは絶対に神戸が先だと変針しました。その時、頭にひらめいたものは、

は、市が氏に依頼したのですが、こちらは、市当局から相手にされず、結局は相も変らずの自主制作で、何とか中央区の中心部だけを描き上げました。展覧会では、市民の方々に、神戸はこんなもんじやない、もっと横に拡がっているのが特徴だと、お叱りを受けましたが、個人の仕事としては、まあ……こんなものだと思います。絵図の彩色についても賛否両論でしたが、スポンサーのない強味の独断と偏見で決めました。

念願の港町、タガメムシのようなハシケの群、接岸する多種多様の船、そして、林立する巨大なクレーンと建造中や機装中の貨物船の川重ドックの面白さ……私の生れた同じ昭和12年、幻の鳥瞰図として葬られた、作者の久留島さんは、このドックをまるで倉庫だけのように描き直させられ、エントツの煙で覆い隠してもなお、軍部からの命令で発刊禁止の憂き目を見ました。戦時中は、要塞だった函館山を学童が描くことさえ禁止、函館市の地図すら発行しなかったのに、今はソビエトの地図をアメリカのNASAが作る時代、つくづく時代の格差を感じます。

変貌を続ける神戸の絵図を、市民の方々の支持を得て、5年後に改訂できるコトを楽しみに、現在、「京都」を始めたこの頃です。



石原正神戸絵図原画展、ギャラリーさんちかにて

欧州の先達、西ドイツのヘルマン・ボルマン氏が、ニューヨーク市で行われた万博開催記念にマンハッタン鳥瞰図を制作したことでした。向う

100年まえから そしてこれからも
結婚式は
オリエンタルホテル

☎(078) 331-8111

ご予約承り中

今秋、来春の吉日がございます

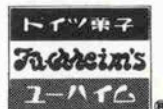


居宿地時氏(明治時代)の
オリエンタルホテル

おいしさをおしゃれにパック
Dinner Cake



みずみずしいおいしさをいつまでも保つ缶入ケーキ。
手軽に味わえる本格的なデザートとして。
また、不意のお客さまにそなえて、とても便利です。
おしゃれな贈り物としても最適です。



当社はユーハイムコンフェクトとは関係ございません。混同されないようご注意ください。

ある集い・その足あと

F.M.C.

△フオーレンステイムシッブマネージャーズクラブ△

大喜多経一△F.M.C.世話人／コーンズ商会▽

昭和50年の暮も近い或る日、私はドッドウエル（英国系船会社）の支店長、長尾晃さんを事務所を訪ねた。その時外資系船会社の日本人マネージャーが集まって親睦会をもってはどうだろう、という話が出た。

最近はまだ外国人マネージャーがいなくなり日本人マネージャーに変わっている。皆が、同じような悩みをもっているだろう。その人達が集まって語り合えば、お互いの自己啓発にもつながるし、いろいろな面でも心強いのではないだろうか、というので早速マース

クライン（デンマーク）の武田さん、ネドロイド（オランダ）の杉村さん、エバレット（アメリカ）の八木さん等に声を掛けるところ、それはいい、早速やろうじゃないかという賛同を得た。

年が明けて、1月5日（金曜日）11・50―13・30貿易センタービル24階レストラン・バーグに集まることにした。今までこの種の会合がなかったからであろう、何と全員が出席したではないか。アメリカの話し方のインストラクターの資格を持っていたことのある長尾さんの素晴らしい司会で会が始まれ、会合の趣旨に全員が賛成、最初の会合でこれを継続することに決った。

会の名前は、FOREIGN STEAMSHIP MANAGERS CLUB. の頭文字をとって「F.M.C.」と名付けられ、ここに正式に外船マネージャー初の親睦会が誕生した。アメリカではF.M.C.と言えば海運行政の親玉、主管官庁（米国連邦海事委員会）のことであるが神戸港では、我々の会合のことだ。

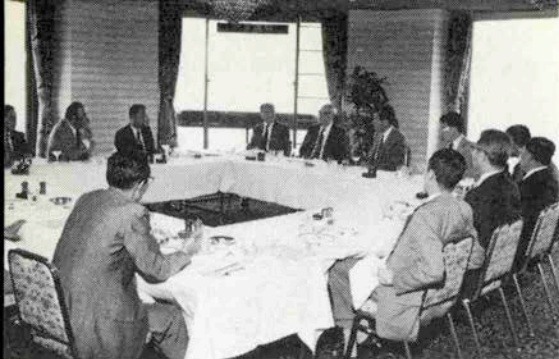
船会社の現場ポート・オフィスの責任者ということもあって、もちろん話題は港・船・海のこと为主であるが、その後神戸港関連職の役所や業界団体のトップクラスの人達をゲストとしてお招きして話を聞くことを企画し、それが現在まで続いている。

今までに、神戸税関・海運局・第五管区海上保安本部・神戸海上保安部・入国管理事務所・海洋気象台・神戸検疫所・水上消防署・海上自衛隊阪神基地隊・神戸市港湾局・阪神外貿埠頭公園・内海水先人会・阪神水先人会・兵庫県港湾協会・神戸タグ協会・三菱倉庫・三井倉庫・その他の方々にお願ひして有意義なお話を聞かせていただいている。

もう会は今月で六十五回にもなる。この度神戸港長に新しく着任された竹中源三郎氏をお迎えして二百海里警備の苦労話、裏話を聞き島国日本の存在を改めて認識した。

ちょうど今年3月15日よりポートピア81が開催中であり、神戸港の繁栄と共にF.M.C.の外船社マネージャーの会としての価値を高めて、いつまでも存続していきたいと思っている。

■お問い合わせ／コーンズ 電話 332-111
51 大喜多経一



昼食を兼ねての和やかな会合 レストランパークに於て>

□連載エッセイ／私のひろいもの／31▽

奇才の人

竹中

郁／詩人・絵も▽



この主人はいま不在だ。

三島はよどみなく始めから終りまで、ゆるいテンポで朗誦した。「恐れ入りました。作者の私ですらうろ覚えてないのを、あなたの御好意に恥入ります。」

じっさい人通りの多い銀座の歩道で立停つてのやりとりだから、こちらは気が気ではなかった。その派手なつくりの母堂とつれ立っている三島の表情はちょっと得意げな色をおびて、あたかも入学式をすませた中学生のような趣きがあった。

この詩のどんなところが三島の気に入っていたのか、そこは惜しいことに尋ねなかったが、たぶんこの小さな景色の中の空虚感が気に入ったのだろう。少々異国趣味にいろどられて、小じんまりと配置された物と物とが読む人に語りかけるように仕掛けてある作風。

近ごろは船の構造が変化してきたので、このような構図を眼にする機会がなくなってしまった。

昭和二十三年か二十四年。もう三島由紀夫は文壇へデビューして相当有名であった。その三島由紀夫を銀座五丁目あたりの路上で洋画家の猪熊弦一郎が紹介してくれた。「こちらは神戸の詩人竹中郁さん」というや否や、三島はちょっと姿勢を正して、「船乗りの部屋」を覚えてます、暗誦しましょう。といって

円い真鍮の窓から
白い小さな部屋が覗ける。

壁にはひとつ
汐風にやけた麦藁帽子。

机のうへに
青い包みの安煙草。
それに小柄な縁に入った若い女の写真。

長い旅路の終りにきて

この詩を書いたのは昭和十五年くらいだったが、そのころは突堤に横づけの船に近よると、こんな有様の窓に出逢うこともあったのだ。

「長い旅路の終りにきて、ここの主人はいま不在だ」というくだりになると、朗誦の終る安堵と、作をしめくくる作者の意図とが入り混って、三島は声量を昂めた。

とにかく、初対面の人から思いもかけぬ朗誦という返礼で挨拶されたのには、おどろくだけでは

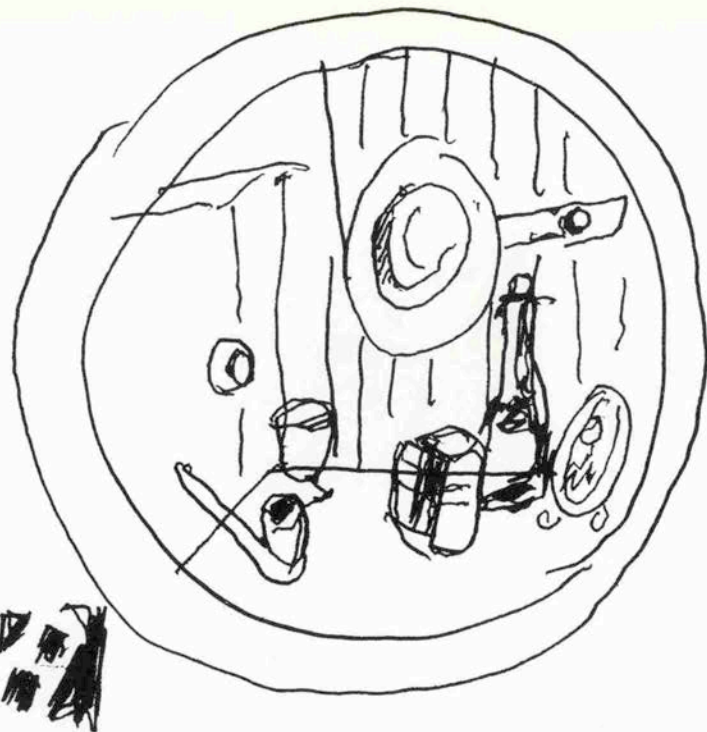
なく、何だかまぶしくて眼をあけておられない感じになった。

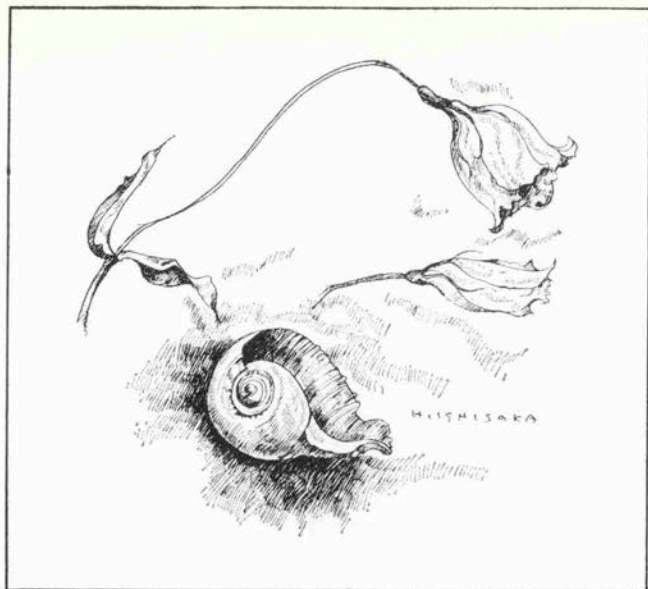
いくら十行かそこらの短い詩にしろ、それをいつでも暗誦できるよう覚えていてくれた三島という人には感謝のほかはない。

神戸の港は、私にとってはふるさととての港。いろいろの材料や角度から書いて、かれこれ三十篇くらいは私の詩作の中にあるだろうと思う。

その中で、この一篇が派手できらびやかな文学生活をつらぬいた三島由紀夫という男性の脳の片隅に座を占めていたという事実。小さな歴史として現実にあったことを述べて記しておくことが、微力な私の任務のような気がするのだ。もちろん、自慢でもない、ひけらかしでもない。

船乗りの個室にみちた空虚感切り取った人生行旅の一部の圧縮から噴きでる哀傷を、珍重してくれたのが、この三島の朗誦という行為になったのかもしれない。この時の母堂はまだおたっしやらしいが、問い合せたところでその深いところはわかりはしまい。





連載エッセイ

折々の神戸〔Ⅳ〕

折り紙と

太鼓判

多田 智満子 謹々

絵 / 石阪春生

のおびただしい美術品を運んできたもので、逸品ぞろいの名が高い。

歴代名家の書画など、本格的な美術品の他に、象牙や玉を細工した工芸品もすばらしいものが多い、これはど精巧入念な細工物は中国以外のどこを探しても絶対に見当らないであろう。

皇帝の食膳に供する果物を容れる象牙の重箱のごときは、一人の職人が一生をかけてもまだ仕上がらず、子がひきついで遂に親子二代で完成したというもので、さすが「愚公山をうつす」お国柄と感服した。

ごく薄い木製の小さなコップ状の盃が、ほんの一ミリづつの差で少しづつ小さいものが七十九個

五月から六月にかけて、神戸の近代美術館で「山王国文物展」が催されたので、ごらんになった方も多いであろう。豪華で、遅しくて、しかもユーモラスな表情をもつ工芸の逸品は、今さらのように古代中国の人々の精神的水準の高さを思いしらせてくれた。これほどの文化をもつ国が、王墓が近年発掘されるまで、歴史に少しも名をとどめていなかったというのだから、中国というのはいへんな国である。

たまたまこの五月、私は台北に二泊する機会をえたので、かねて聞き及ぶ故宮博物館を訪ねた。

御承知のように、この博物館の藏品は蒋介石が本土から台湾へ逃げてきたおり、北京の故宮所蔵

も作られ、これが全部入れ子になって一つの盃にきれいにおさまる仕組みがある。

また、美しい透かし彫をほどこした象牙球の中に、やはり透かし彫のある象牙球が同心円をなして、なんと十七層も重なっておさまっているのがある。一番外側のが完全に閉ざされた球であるからには、一体どうやって内側の球を彫ったのか、まさに謎のような作品である。こんなものをこしらえた工人は、ただ美しいものを作るという以上に、細密な至難のわざ、ほとんど幻想的な名人芸への情熱に支えられていたにちがいない。ここには文化爛熟のきわみの、一種のデカダンスさえ感じられた。

さて、いよいよお目当ての書画である。収蔵品が多すぎて一度に展示できないので、見られるのはほんの一部にすぎない。或る室には鶏や鷹など鳥の画幅ばかり陳列してあったが、これは今年が酉年だから、ということだった。来年は犬の画がならぶはずである。

ほんの一部、とはいうものの、王羲之、米芾、周文、玄宗皇帝など、音に聞えた名家の書画を目のあたりにすることができて、いささか興奮してしまった。

ところで、ここに陳列された顔真卿の書などは、タテ三〇センチ、ヨコ五〇センチほどの紙が、左右に長く、いくつもノリでくっついていて、どの紙にも十行ほど文がしたためられてあり、いずれも麗筆だがみな筆跡がちがうのである。

書に通じた人なら分るのだろうが、素人の悲しさで、どれが顔真卿その人の書だか、一見しただけではさっぱり分らない。わずかに、「祭姪文稿」

という簡単な説明書きから、これは草稿、つまり下書きなのだろうと見当をつけて、そのつもりで見ると、真中辺にある、いちばんぞんざいに記され、ところどころ抹消のある十行ばかりがそれではあるまいかと思われた。

やや落ちついて読んでみると、まさしく祭姪文らしき文面であり、左右に貼付した他の書は、どれも、これが顔真卿の真筆に相違ないことを保証する、いわば鑑定書にすぎない。しかし鑑定書の方がきちんと整ったよそいきの字体で書かれていて、素人目にはこの方が立派に見えるのだ。

一片の草稿に対して一人の目利きだけでは物足らぬかのように、あとからあとから「折り紙」を付け加えた結果、さながらふだん着の顔真卿が威儀を正した供廻りをぞろぞろ従えている風情であった。

中国人の鑑定好きは、しかし、書よりも画の方にはつきりとあらわれていた。一例をあげるなら、沈周の山水図の如きは、本来の「讚」の他に、あとから「再題」として書きそえた詩文があるばかりでなく、これが沈周の真筆である旨を保証する諸家の落款がなんと十五、六も（もしかすると二十も）、ベタベタと捺してあって、ほとんど余白がなくなってしまう。「折り紙」をつけるだけならオリジナルがそこなわれることはないが、こうにぎにぎしく画面に「太鼓判」を捺されてしまつては、山水画そのものが少々気の毒なほどであった。